

# 中央大学学員会 熊本支部 会報

第2号

支部長挨拶

丸本 文紀 (昭和53年卒)



支部長の丸本でございます。学員会の皆様におかれましては平素より中央大学学員会熊本支部の活動にご支援ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて熊本地震より早いものであつと言う間の一年が過ぎました。我が郷土熊本も各方面からご支援をいただきながら、県民が総力をあげて復旧復興に邁進してまいりました。その間、中央大学と学員会本部より心温まるお見舞い、タイムリーな救援物資の補給と復興の義援金まで賜りました。また酒井総長・学長もお見舞いに来熊され、温かい励ましの言葉も頂戴致しました。そのご縁で今年の酒井総長学長の学術講演会招聘の運びとなりました。その後学員会より支部に授与された義援金100万円は熊本県の「文化財復興支援金」として蒲島知事に贈呈させてい

いただきました。中央大学と学員会の絆の強さを感じた一年でした。

ところで私の学生時代、男子志を立て郷関を出ずという気持ちで中央大学に入学しましたが、実際は少林寺拳法部に在籍し、練習とアルバイトに明け暮れた日々でした。皆さんと同様、今でも東京という街には、まぶしい青春時代の思い出を宿しているのか、ある種の高揚感を覚えます。神田お茶の水界隈に行けば40年前の記憶が昨日のこのように蘇り、少林寺拳法で一緒に汗を流し鍛えられた仲間とは年に一回のOB会で言えば年甲斐もなく昔話で午前様という有様です。今をときめく自民党の高村副総裁は少林寺拳法部のOBであり、当時は新進気鋭の弁護士でとても後輩の面倒見がよく、練習に來られるたびに飲ませていただきました。自民党参議院議員の中西哲氏も3年上の先輩で今でも上京の折は政治談議で盛り上がります。先輩、後輩、同期と夢を語り、将来に希望つないだ中央の学生時代に私の人生の原点があるような気が致します。

最後に熊本支部の皆様と絆を深めつつ共に支部の発展を祈念してご挨拶とさせていただきます。

## 学員会からの義援金を 「熊本地震被災文化財等 復旧復興基金」へ寄付

幹事長 佐々博文

本年3月1日、熊本県庁の知事応接室にて寄付金100万円の贈呈式が執り行われ「大学同窓会からの寄附ゆえ学術振興の観点からも文化財の復旧にお役立てください」というメッセージとともに蒲島知事へ丸本支部長から目録の贈呈を行いました。

この100万円は全国の学員、支部、学員会本部から集められ、昨年10月の本学キャンパスで開催されたホームカミングデーの際、開会式の中で久野学員会会長より熊本支部代表の岩田副支部長へ手渡されたものです。なお、県への贈呈式には田嶋副知事、県教育庁の方々、熊本支部からは荒木・本田副支部長といったメンバーも同席し和やかな雰囲気でのセレモニーとなりました。



全国の学員から寄せられた浄財を熊本県蒲島知事へ届けました。

株式会社 荒木建設

会長  
**荒木 英行**  
(昭和44年卒)

公認会計士・税理士  
京都大学 経営管理大学院  
特命教授

**吉永 茂**  
(昭和42年卒)

熊本県文化協会会長  
九州産業交通  
ホールディングス(株)

顧問  
**吉丸 良治**  
(昭和41年卒)

岩本俊雄税理士事務所

所長  
**岩本 俊雄**  
(昭和40年卒)

### 錦鯉の放流式に参加して

岩田 英志 (昭和51年卒)

昨年(平成28年)10月23日、中央大学八王子キャンパスで開催された、錦鯉の放流式に参加しました。当日は平成16年最大震度7を観測した新潟県中越地震が発生した日に当たり、地震からの復興という願いを込めて開催されたものです。学員会の新潟中越支部から寄贈された山古志の52匹の錦鯉が中央の池に次々と放流されると、悠々と泳ぐその美しい姿に、参加者から大きな歓声が上がりました。

当日は晴天にも恵まれ、深澤理事長、酒井総長・学長、久野学員会会長、新潟中越支部の学員をはじめ、多くの方々に参加されました。熊本支部からは、私岩田と、元熊本支部長である安田征史学員会副会長も参加され、昨年被災した熊本地震からの復興の願いを込めて放流しました。

多くの学員の方々から熊本地震に対して励ましの言葉をいただきました。また、これまでにも多くの義援金をいただいております。学員会の友情に胸が熱くなりました。さらに、藤原正和副会長の監督も参加され、箱根駅伝への復帰と、早期優勝を願って放流されました。運よく会話する機会に恵まれましたが、今年の正月は、中央大学が箱根駅伝にエントリーできず、テレビ観戦もせずに寂しく過ごしただけに、来年こそ是非参戦し、上位入賞していただけるようお願いしたところです。



学員会本部 安田副会長と錦鯉の放流を行いました

### 沖縄支部総会に参加して

荒木 英行 (昭和44年卒)



平成27年10月16日(金)開催の中央大学沖縄支部総会に出席することになりました。幹事会で誰か出席する人は居ませんかと言うことで私は自ら手を挙げました。それは幹事会に出席する度に菊池市の自宅から送迎してくれる妻を連れて行くことだったからです。

結局は熊本市内に住む長女とその娘(2歳)も一緒に行くことになり4名の家族旅行と相成った次第です。前日の15

日熊本空港を出発し一路沖縄へ。那覇市内では予約していたレンタカーを借り免税店やショッピングセンター、そしてメインの美ら海水族館、宿泊は恩納村のリゾートホテルでゆったりとした時間を過ごしました。翌日は又レンタカーでプセ

ナテラスやサミットが開催された万国津梁館、平安座島への海中道路等々の観光地を楽しみました。那覇市内の国際通り近くのホテルにチェックインし、18時から開会の支部総会に出席するため会場の日航那覇グランドキャッスルへ向かいました。まず前学長の学術講演会が約1時間あり、その後総会、懇親会と続きました。安田副会長もお見えで本部の動向などを的確にお話しされました。昨年、長崎支部総会に参加した時もお見えで、九

今回は中越地震からの復興祈念として行われた行事でしたが、昨年被災した熊本の復興は始まったばかりで、多くの課題が山積しており、復興に向け、思いを新たにしたい一日でした。

市内の総会に全部出席されている由、頭の下がる思いです。懇親会ではゲストはそれぞれ自己紹介をしました。泡盛と沖縄料理に舌鼓をうち、ホテルの20階であった二次会にも参加させて頂きました。夜景のきれいなラウンジで楽しいひと時を過ごすことが出来ました。私の総会の資料が行方不明ですので総会の件はあまり記憶に残ってなくて申し訳ありません。

沖縄と云えば私の所属している菊池ライオンズクラブと姉妹クラブである浦添ライオンズクラブから昨年の熊本地震の際すぐに来菊され、義援金と食料品を菊池市役所と避難場所に届けられたことに感銘を受けました。この場を借りてご紹介しておきます。総会に参加させて頂き誠に有難うございました。

株式会社 日本ビル管理

代表取締役

森本 茂樹

(昭和50年卒)

税理士法人 未来税務会計事務所

代表社員

西田 尚史

(昭和47年卒)

(有)西銀座会館 (有)オフィス・リジン

代表取締役

荒木 誠也

(昭和44年卒)

ポーラ天草ショップ

ショップオーナー

今福 信彦

(昭和44年卒)



ヒライ本社（熊本市西区春日）

学員だより  
食のライフラインを目指して

（株）ヒライホールディングス  
平井 謙丞（昭和60年卒）



こんにちは。60年経済学部卒業の平井と申します。現在は（株）ヒライホールディングスという会社の専務をしております。私の学生時代はアルバイトと趣味に明け暮れ、無事に卒業できたのは自分史の中のレジェンドです。

最初に住んだ場所は知る人ぞ知る京王線の百草園駅。風呂も京王ストアも無く大家さんの飼っている鶏の声を覚ますという東京をひとかけらも感じることはないアパートでした。その後、鶏のいない都会に憧れて下北沢に引っ越しました。かの有名な本多劇場

地下のバー、ステージドア（現在閉店）でバイトしたのも良い思い出です。サークルは熊本県人会の方が主宰していた事もあり、友人と誘い合わせキックボクシング同好会に入りました。しかし後楽園ホールのリングに立ちたいの国技に身を投じる自分を想像できず、一年でフェードアウトさせていただきました。今思えば結構挫折感めいたものを感じていた学生時代だったと思います。勉強でなくアルバイトに打ち込んでしまい、自由に学ぶ時間を使い果たしたことは少し残念ではあります。卒業して全国チェーンの外食産業で2年ほど働いたあとに現在の会社に入社しました。

（株）ヒライホールディングスは（株）ヒライ、どんどんライスなど7社で構成されている総合的な食事業業のグループです。（株）ヒライは惣菜シヨップを郊外型・スーパー等のテナント型として熊本を中心に福岡・大分・佐賀に全て直营で展開しています。現在140店舗、来年創業50年を迎えるグループの中心となる会社です。どんどんライスは当初はヒライの炊飯部門が独立した形で始まり、今は外部へのお取引を主に炊いたご飯や酢飯、おにぎり・巻寿司などお米を中心とした製品を卸して提供しています。また昨年末に大分の九州フードサービスという会社をM&A致しました。これによりグループの年商は230億弱となる予定です。

弊社は現在の社長が作った「食のインフラ・食のライフライン」となることを目指す」を全従業員のミッションとして共有し、事業の発展・拡大を計っ

ています。その中で起きた昨年の熊本地震は弊社の存在価値を試されるときでもありました。従業員みな一様に被災者ではありましたが、全力でお弁当を作り、余震の続く中、お店を開け、一食でも多く被災者の方に提供できるように頑張ったのも日頃から全員がこのミッションを共有できていたからこそだと思えます。また普段は競合相手の福岡、鹿児島と同業者も弊社の無茶な依頼に応え何千個というお弁当を徹夜で作って運んでくださったこともこの場をお借りしてご報告させていただきます。現在、日本全国、ここ熊本でも未曾有の人手不足ではありますが今後弊社も働き方の改革を進め、出店を続けてグループ年商一十億を本気で目指しています。日本中に弊社のちくわサラダを！

不真面目な学生時代を送った私が学員会活動に携わることができたのも佐々先輩、守屋さんが立ち上げてくれた白門会熊本フェイェスブック支部がきっかけです。この会報誌を読んだ方が学生時代の思い出話を共有できる場として気軽に学員会活動に参加していただくきっかけになればと思います。「野猿」という単語に懐かしさがよぎった方は是非ご参加ください。

最後になりますが年始の楽しみみの箱根に母校の姿が無いことが残念でなりません。復活の際は熊本からみんなで応援に行きましょう。



4月にオープンした下通りCOCOSA地下店

池上会計事務所

所長・税理士  
**池上 道夫**  
(昭和54年卒)

荒木公認会計士事務所

公認会計士・税理士  
**荒木 幸介**  
(昭和53年卒)

合資会社 橋本商店

代表社員  
**橋本 和久**  
(昭和53年卒)

熊本城桜の馬場リテール株式会社

代表取締役  
**丸本 文紀**  
(昭和53年卒)

取締役常務執行役員  
**佐々 博文**  
(昭和56年卒)

### 学員だより 地震に負けず、ネオンは輝く

西銀座通り繁栄会  
荒木 誠也(昭和44年卒)



昨年の一連の熊本地震では、皆様、心身共に相当なダメージを被られたことと拝察致します。私が繁栄会長を務める西銀座通りの各テナントビルも、被害は甚大でした。本震翌日の街中は、まさに悪臭漂うゴミの山。悲観と焦燥感に苛まれ、再起は無理かも…と、落胆した人も数多くあった様です。しかし、立ち直るのが早いのも街中。一晩寝て気持ちを収める

や、一早く片付けに奔走し、一週間後には、営業に漕ぎ着けた店もある…と聞き及んでおります。生き馬の目を抜く…と云う言葉がありますが、私たちが棲息する街中は、将にその埒塙といつても過言ではありません。  
私が所属する西銀座通りは、其の街中の一つです。繁栄会組織後、46年が経過しました。以前は、商店数も少なく、町内会として細々と運営して来ましたが、繁栄会設立後、街中の佇まいは、目まぐるしく変貌を遂げました。初代会長から始まり、三代目会長の私に至るまで、通りの資産価値向上の為、道路上のインフラ整備に全力を傾注して来ましたが、この間、熊本市では、各デパートの建設、

アーケード街設置、そして市民待望の熊本城が再建されて居ります。  
ところで、新市街界隈を彩る娯楽街は、熊本市中央繁栄会連合会の名のもと、10通りの繁栄会で構成されて居ります。即ち、銀杏南・中・北の3通り、栄通り、栄通り商栄会、城見町通り、光琳寺通り、酒場通り、クラブ通り、西銀座通りです。各通りとも、大なり小なり同様の轍を踏んで発展して来て居ります。  
いま、桜町地区・花畑地区では、熊本市が推進するMICE事業を中心とした開発工事が着々と進められています。2年後には竣工の予定です。完成した暁には、インバウンド及び県外の観光客がどっと押し寄せて来ます。掛け値無しに、九州では有数のネオン街、私たちが中央繁栄会連合会の出番です。  
地震で自信喪失の熊本に、光明を見出す日が必ずや訪れる…と、確信して居ります。

### 学員だより 熊本地震から1年、熊本とともに

ロアッソ熊本  
池谷 友良(昭和60年卒)



「今は正直、サッカーを頑張ろうという気持ちにはなりにくい部分もある」  
熊本を襲った昨年4月14日の前震から1週間後。元日本代表でJ2熊本の巻誠一郎は傷ついた故郷を思い、報道陣の前で泣いた。  
この1年を振り返ると、何かあったらロアッソ熊本規模のクラブは、あつという間に倒れると感じた。  
クラブは地震以降、5試合の延期を決定。本拠地での試合が出来なければ、取

入源の一つである入場料収入はない。年間の営業収益が7億2千万という地方クラブは苦しい経営を強いられた。  
スタジアムは、救援物資の集積所となっていたため、昨年7月まで使用できず、その間は、柏、神戸、鳥栖のスタジアムを借りての開催で乗り切った。  
地方クラブ存在、在り方として、もっとこのクラブを支えてくれるマンパワーが必要だし、大都会にはない地域クラブとしての存在感のあるクラブの必要性を強く感じた。  
地震を一つのきっかけに、よりクラブが地域に根づく地域密着型に力を入れ、日本一地域に根ざしたクラブ作りを推し進める。  
県内の幼稚園や保育園を対象にサッカースクールのコーチが運動を教える取

り組みや、スポーツ少年団のない地域への指導者派遣。育成では、今期からアカデミー寮を新設し、5年先にはトップチームの約半数をユース出身者が占めるチームを作りたい。  
営業面では、昨年約400社だったスポンサー企業を今期は地元企業を基盤に500社まで増やすことを目標に取り組んでいる。  
クラブ創設から13年、日本一地域に根ざした、他の地域にない熊本独自のクラブ作りを目指し10年後、50年後に繋げたい。  
本震から1年の4月16日、スタジアムは1万4千人のファン、サポーターで埋めつくされた。毎試合スタジアムが真っ赤に染まる日が来ること、それがJ1昇格、そして理念達成に繋がると信じて歩んでいきたい。



新産住拓株式会社  
代表取締役社長  
**小山 英文**  
(平成2年卒)

もりや社会保険  
労務士事務所  
代表  
**守屋 尚**  
(平成元年卒)

アステア税理士法人  
代表社員税理士  
**千田 基史**  
(昭和63年卒)

グランツ株式会社  
印刷・デザイン  
代表取締役  
**吉田 秋正**  
(昭和56年卒)

私の履歴書



井村 秀夫  
(昭和49年卒)

卒業して直ぐに熊日広告社に入社、営業部に配属になりました。案内広告、折込み、夕刊記事下広告が中心で、夕刊の担当でした。

人と会ったり、話したりすることが元来得意な方ではなく、新規開拓の飛び込み営業では苦勞しました。高度経済成長の時代、売り上げは順調に伸び、テレビ、ラジオの電波広告の取扱いも開始し、総合広告会社としての体裁も整っていきました。

当時は企画部門がある企業は少なく、原稿集めだけでなく、企画、イベントまで全て一人で考え提案することで広告主を増やすことができ、個人の売り上げも増加、一時は休みも取れない状態になりました。そんななか、一番印象に残っているのは、初めて自分の力で獲得した日産チェリー熊本販売の朝刊全ページの広告です。「他社の担当が代わったのでこれからは全て君に任せる。」という嬉しい言葉は今でも忘れられません。

思い起こしてみると、このような節目では必ず誰かに助けて頂いたように

思います。

出会えたご縁を大事に、お客様の立場に立った仕事をコツコツと続ける、この気持ちを常に心掛けてきました。とりわけ、高橋酒造との出会いは自分史の中でも最大のものです。「新しい焼酎ができたので広告を出したい。」と高橋会長から連絡を頂いたのがきっかけでした。これまでにない画期的な製造方法、減圧蒸留で造られた白岳との出会いでした。「お客様に売るのはなく、買って頂く。」という熱意とマーケティング、白岳の商品に感銘し、できれば自分の力で日本一の焼酎メーカーにしたい、そんな大きな夢を持ちました。こんな思いがトップコピーライター魚住勉氏との出会いに繋がりました。その後の白岳、白岳しろの躍進に貢献できたのだと思います。また、肥後銀行の「げんき、ゆうき、



白岳「しろ」ポスター (昭和56年)

のんき。」、熊本放送四十周年「なんでもあり。」、熊本県の観光キャンペーン「ポーッとしよう。」など次々と大きな仕事に恵まれ、業界トップの制作スタッフなどと仕事をする事ができました。

熊本県の観光ポスターは笠智衆さんが初めて広告に出演された作品で、その年の全国コンクールでグランプリを受賞しました。

お陰様で地方の小さな会社においても、全国から注目を浴びる仕事を経験し、地域の発展に少しは寄与できたのではないかと思います。

現在在籍するホテル日航熊本での仕事も基本は同じ、お一人おひとりのお客様を大事にして、お客様の立場で考え、地域の発展に貢献する、これは今でも変わることはありません。



県観光連盟ポスター (昭和63年)

熊本銀行  
白門会一同

肥後銀行  
白門会一同

アリオン法律事務所

弁護士  
宮崎 耕平  
(平成13年卒)

株式会社 上田商会

代表取締役  
上田 修司  
(平成5年卒)

# 「熊本城坪井川園遊会」に参加して

熊本白門ライオンズクラブ 織島 純吾 (昭和52年卒)

熊本白門ライオンズクラブはその名の通り、中央大学の同窓生で構成されたクラブで、結成されて13年目を迎え、現在、28名のメンバーで活動しております。

さて、当クラブが「熊本城坪井川園遊会」に参加するようになったのは、園遊会の主催者である「熊本ルネッサンス県民運動本部」に同窓の吉丸良治氏と岩田英志氏がいらしたご縁で、川下り舟の受付のボランティアをするようになりました。その時から10年以上経過して、毎年、春の恒例行事として楽しみにしていました。現在は熊本地震により中止となりました。現在の状況も熊本城及びその周辺は復旧も進んでいないところが多くあり、心配しておりましたが、実行委員会を中心とした関係者の方々のご尽力により開催されました。開会式のセレモニーでは、「熊本地震により熊本城が大きな被害を受け、熊本観光に影響を与えています。この園遊会は、坪井川と熊本

本城および城下町の再生を目的としています。」と述べられました。関係者の皆様方のご努力に対し感謝申し上げます。

さて、今年も熊本城が地震の被害で立ち入り出来ませんでしたので、舟の発着場所は熊本駅前の森都心プラザ裏からになりました。舟も今までの和船ではなく、大阪の道頓堀で運行している観光船「あまのかわ」を使って春日橋から明十橋の間を往復する約30分ほどのクルーズでした。

この船は定員40名、蓄電池を動力としたもので、近未来の乗り物を想起させる斬新なデザインで、乗ってみたいと思わせる大人気の船でした。



大人気だった電動観光船「あまのかわ」



開会式には各界より多数の方が参加された

5月3日から6日まで、一日9便の運航でしたが、乗船券は朝8時から配布して、最初の船が出航する1時間後には売り切れるほどの人気でした。この様なイベントが今後も継続して開催され、熊本の復興の後押しとなっていくことを祈念致しております。

# 私の「老化防止」対策

吉永 茂 (昭和42年卒)

草のみどりに風薫る丘に目映き白門を築立って、早半世紀、郷里熊本で公認会計士・税理士を営業して40年が経ってしまいました。学生時代の思い出としては、学業より囲碁の方で、毎日通ったのは中央大学ではなく、大学の近辺にある碁会所でした。お陰で、卒業の頃には、日本棋院から七段の免許状をいただく程になりました。老化を防ぐには、「考えること」が一番ですので、今でも暇を見つけては、江戸時代の名棋士の打碁を一人で並べては楽しんでます。

考えることとしては、昨年春、京都大学の経営管理大学院から特命教授の任を仰せつかりましたので、月数回、京都大学に向かっています。又、最近東京の東洋出版から「中小企業の事業性を向上させる税理士の経営支援」という本を出版しました。出版もほけ防止になるのでは(?)と思っています。幸いにして、子供達も資格を取って事務所で頑張ってくれていますので、私のBCP(事業継続計画)も「読み筋」通り進んでいるようです。最後にになりましたが、中央大学の学友の皆様方のご発展を心からお祈り申し上げます。



全員集合!! (熊本事務所職員、二の丸広場にて)

## 原稿募集!!

中央大学学会熊本支部広報委員会では、会報に掲載する原稿を広く募集いたします。ジャンルは問いません。私の履歴書は1200字程度、その他は800字程度を目安にお願いいたします。写真等ありましたらお送り下さい。会報は年1回発行予定です。

問い合わせ・原稿送り先

広報委員長 本田 勝範  
〒861-2234 熊本県上益城郡益城町古閑551-5  
本田税理士事務所 TEL 096-289-0990



## 随時会員募集中!!

ライオンズクラブ国際協会337-E地区1Z

# 熊本白門ライオンズクラブ

当熊本白門ライオンズクラブは、中央大学の学会に所属する者だけで構成される全国でも珍しいライオンズクラブです。入会して新しい人脈を広げませんか。  
〒860-0041 熊本中央区細工町1-51 スコーレビル2F TEL 096-312-6300 FAX 096-312-6503

紀行  
猫空ロープウェイと  
鉄観音茶  
中川 律(昭和55年卒)

本年2月夫婦で台湾を訪問した。最初は台南に赴いたが、気候は温暖で、Tシャツだけでも汗ばむ陽気である。その後台北移動後は幾分寒くなった。それでも薄手のブルゾン一枚で十分過ごせる。

さて猫空とはマオコンと発音し、台北中心より東南方向の丘陵地帯を指す。またこの辺りは台湾で最初に茶の収穫があった地域で、今でも鉄観音茶の産地として有名である。

猫空ロープウェイは動物園駅から猫空駅まで約20分の行程である。乗る段になって知ったが、床をガラス張りにしたゴンドラがあつて、家族連れに人気があるようだ。乗車は順番待ちになつてゐた。愚生は高い所から下を見ると膝から下がムズムズする。よつて普通のゴンドラに乗る。生憎の曇天であつたが眼下に広がる茶畑の合間から広々とした景色を一望でき遠くに台北101もくっきりと見えた。夜景も素晴らしいと言つたので次は夕刻時に訪れてみよう。

終点の猫空駅に到着後は眺めの良いレストランで昼食を済ませ、茶館のある方へぶらぶらと歩いて行く。幾つか店を覗いてみたがどこも賑わつてゐるようだった。私たちは石

段を上つた地味な茶館に腰を落ち着けた。台湾ドル400円で少量の鉄観音茶を買うとお湯と茶器を出してくれる。教えられた通り入れてみると普段飲んでゐるものより雑味や苦みがなく香りも高い。しかも何杯飲んでもなかなか薄くならない。帰国を前にして、お茶と景色と澄んだ空気でいい気分浸つた。

台湾の方々には元々おもてなし精神が旺盛なのか当地では随分と親切にされた。また南へ行けば行くほど暑くなるが人情もまた厚くなる。ましてや半世紀も同居した仲である。熊本高雄間の直行便も再開し、今後は中高年の避寒ロングステイや気軽な遠征ゴルフ等も増えるのではないかと、予想してゐる。



台湾のマオコンロープウェイにて。

肥後もっこす本舗




代表取締役  
岩田 英志  
(昭和51年卒)

株式会社 岩田コーポレーション  
〒861-5533 熊本市北区和泉町168-18 フードパル熊本内  
TEL096-245-5211 FAX096-245-5218

本田税理士事務所



税理士  
本田 勝範  
(昭和52年卒)

〒861-2234  
熊本県上益城郡益城町古閑551-5  
TEL 096-289-0990

熊本大同青果グループ  
株式会社大同リース  
(リース業・貸金業・不動産業)



代表取締役社長  
月田 潔 孝 (昭和59年卒)  
宅地建物取引士

〒860-0058熊本市西区田崎町484 大同ビル6F  
TEL 096-324-9500 FAX 096-324-9501  
E-mail: kyfender@kdaido.com



日替わりのお弁当を  
会社やご自宅に...  
一食からお届けします。



(株)ピライ 給食宅配サービス

おいしいな ぎゅうしょく  
フリーダイヤル 0120-047-949  
S60年卒 平井 謙丞

**ホテル 夢しずく**

阿蘇五岳が一望できる、抜群のロケーション。  
 南阿蘇山脈のふもとにあり、約700坪という広大な敷地を誇るリゾートホテル。  
 この機会にゆったりとした癒しの時間をぜひ体感ください。

**名湯南阿蘇温泉郷**  
**ホテル夢しずく・別邸蘇庵**  
**おかげ様で9周年**

**別邸 蘇庵**

バラエーション豊かな新しいかたちの温泉街を創出

各客室には、それぞれ趣の異なる「半露天風呂」をご用意。

両館のご予約・お問い合わせは  
**☎0967-67-4555** [www.yumeshizuku.jp](http://www.yumeshizuku.jp)

ホームページからもご予約頂けます

夢しずく 別邸蘇庵 検索

**夢しずく 別邸 蘇庵**  
 代表取締役会長 安田 征史  
 (昭和38年卒業)

〒869-1411 熊本阿蘇郡南阿蘇村大字阿蘇字小野5-56 (アクセス)・福岡方面から/九州自動車道・益城熊本空港ICを下り、阿蘇くまもと空港方面へ30分。・大分方面から/大分市内から国道57号線で熊本方面へ

平屋モデルハウス HIRAYA (本社総合展示場)

みなさまと共に未来へ前進。

賢い…住まい。

**ai-wood アイ・ウッド KK**  
 システム・ハウス

代表取締役会長 福永 力三 (昭和44年卒)

〒862-0916 熊本市東区佐土原1-3-15 (第2空港線沿い)  
**TEL.096-368-8111** ☎0120-096-255  
 E-mail: info@ai-wood.net

住まいの最新情報を配信中!  
<http://www.ai-wood.net/> **アイ・ウッド** 検索

■一般建築設計事務所1715号 ■社団法人 日本木造住宅産業協会会員 ■宅建業免許熊本県知事(13)第785号
■建設業免許(特-27)第2144号 ■一般社団 熊本県優良住宅協会 会員

めがねのきよた 県庁通り 県庁通り展示場

シモカワ薬局 自衛隊通り 健康自衛隊 第二空港線

**本社 本社総合展示場** 熊本銀行 県庁通り 益城熊本空港IC

至空港 至熊本 至健康自衛隊 至健康自衛隊 至健康自衛隊 至健康自衛隊 至健康自衛隊

至健康自衛隊 至健康自衛隊 至健康自衛隊 至健康自衛隊 至健康自衛隊

至健康自衛隊 至健康自衛隊 至健康自衛隊 至健康自衛隊 至健康自衛隊

至健康自衛隊 至健康自衛隊 至健康自衛隊 至健康自衛隊 至健康自衛隊

安心と満足の家づくり

**シアーズホームグループ**

代表取締役 社長 **丸本 文紀** (昭和53年卒)

株式会社シアーズホーム 本社/熊本県熊本市南区馬渡2-12-35 TEL096(370)0007